

* 私自身の話で恐縮ですが、20年ほどAI/機械学習に関わる研究をしてきました。振り返ると、2000年代と2010年代は様相が一変し、深層学習の発展とともに2010年代から激動の時代となりました。2000年代から2010年代初頭にかけてはベイズの技術を使ってデータから潜在的意味を取り出すといった研究を行っていましたが、2010年代中盤に研究から離れ2010年代後半に戻ってきたときには深層学習に席卷され世界が一変し驚いたものでした。

* 現在のAI/機械学習分野の面白いところは、コモディティ化が進行しつつ、同時に技術も発展しているところかと思えます。コモディティ化により参入障壁が下がり激しい技術競争が行われている一方、技術のブラックボックスな部分に対する恐れが説明可能なAIなど信頼されるAIの需要につながっています。私の何となく

の感覚にはなりますが、こういった激動の中でこそ、統計的学習理論など理論そのものにアプローチするか、理論に沿った研究を進めるか、いずれにせよ理論の大きな流れを意識して研究することが大事かと思っています。

* 一方、システムとしてのAI/機械学習の側面もあります。本誌10月号の小特集は、機械学習を活用したネットワーク監視・予測・制御技術の最新動向です。AI/機械学習が解くべき課題として、適用して初めて分かる、データに依存した課題やシステム化する上での課題もあるかと思えます。情報通信分野として、どこまでをAIシステム化しどこからは人間が担うのか、システムとしてのAI/機械学習の検討が進む一助となればよいと思います。

(編集特別幹事 黒川茂莉)

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌に掲載された著作物の複写複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。複写複製を御希望の方は、一般社団法人学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請して下さい。

なお、複写以外の許諾(著作物の転載、翻訳等)に関しては、委託しておりませんので、直接本会へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

著作物利用許諾申請：<https://www.ieice.org/jpn/copyright/tensai.html>

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

The IEICE authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JAC) to license our reproduction rights of copyrighted works. If you wish to obtain permission of these rights, please refer to the homepage of JAC (<https://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations to request permission.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

IEICE Secretariat Office,

E-mail: permission@ieice.org

Permission request form: <https://db.ieice.org/chosaku/sinsei/index-e.php>